

関東 UHF コンテスト雑感

de JA1RIZ

2.4GHzをメインにした今回は、いつも移動の所沢を離れて、もっとロケのFBな所からの運用を狙ったものの、馬力不足でやっぱり「所沢の丘」から出ることになりました。

それでもなんとか、運用条件を良くして少しでも局数を伸ばそうと画策しましたが！

いつもは丘サイドの車載状態からのオンエアだったのですが、丘の上に直接設営してみた。飛び具合には格段の差は感じられなかったが、結果的には以前よりズットFB。

今までは1~2局しかQSOできなかったが今回はなんと7QSO、『大漁！』でした。

交信できた地域は、埼玉・東京・神奈川で、最長距離は伊勢原市の約43km。

伝搬上の特異事項として、受信時の音声歪みがひどく感じられたことです。いわゆる伝送路上で発生する「伝送歪み」とでも云うべきものでしょうか？

その歪みは、GP-ANTでは顕著でしたが、28EL ループ八木でも歪みが軽減されないものもあって、結局そのため、某局とは QSO に至らずの結果でした。電波は届いているのに、ちょっと残念というところ。これは相手局の伝搬状態とうまくマッチングしなかったためと想像しています。しかし、ハイゲイン ANT の使用で多くの歪みに改善効果があることが実感できたことも事実です。

もう一つのテーマとして、「F2A」の電波形式での交信です。

F2Aは、周波数変調波であって、可聴変調波によるモールス符号ということで、FM波にマイク音声の代わりに電信のトーンを変調した電波のことです。

それならトーン発信音をマイクを通して送ればいいじゃないか、という向きもあるかもしれないが、送受の切り替え音や周囲の雑音がマイクに乗っても具合が良くない。マイクラインにトーン信号だけを送り込んで「本格的」なF2Aがかっこいい！

というわけで、マイクラインにトーン信号を挿入した本格的 F2A モードでの CW 交信をめざす。只、運用周波数帯はアマチュアバンドプランでは CW 帯には出ることができず、主に FM モードで運用する「全電波形式」バンドに出なければならぬ。その為 CW マンが聴いてくれるかどうかの問題と、F2A モードで許可を取っている局がどれだけ存在しているかという問題がある。・・・というようなことで実現性は極めて難しい！とっていました。

しかし、可能性がないわけではない！と、しばらくの時間帯を F2A による CQ に費やしました。10分、20分と空振りの CQ-KNT-TEST を連発していたところ、ついに待望のコールあり！埼玉県内の OM と無事に No 交換・・・。嗚呼、やってみるものである。

CW モードで F2A の電波形式では初めての QSO でちょっと感激！ Hihi

UHFコンテストもこれだけで満足でしたが、ついでに(?)もう少し頑張っただけで電話モードでも6QSO、前述のように、合計7QSOもできるという**大漁**の結果になりました。2.4GHzは賑やかなバンドでないで(閑散BAND?)、マイクに向かいカラCQの連発状態ではありましたが、これも大きな声を出す訓練と思えば、歳相応の健康にも役立つか?・・・等と思いつきながら楽しき時間が過ごせたものと思います。

(完)